

＼ 国・府・市あげて /

生活・営業支援をすすめる時!

なんでいま

大阪市廃止なの?



コロナ不況はリーマンショックを上回り長期化も確実です。
倒産・廃業・失業者とともに生活保護申請が急増しています。
この非常時に自治体の最大の使命は市民のいのちとくらしを守ること。
大阪市を廃止するための「住民投票」などを行っている場合ではありません。



増す

くらし・営業の不安

優先は

コロナ対策!

吉村知事や松井市長は「住民投票」は「11月にやれる」と言います。
しかし市民にはいまだに「給付金」「支援金」が届かず、くらしや営業の不安が増し、
先の見通しはたたず、「都構想」などじっくり考える環境にはありません。

大阪市廃止の「住民投票」は不要不急、作業を中止してコロナ対策に集中を!

大阪マラソンが中止…、オリンピックも「難しい」…のに?

11月29日(予定)の大阪マラソンは「ちょっと今年は難しい」(吉村知事・5月31日)、
来年のオリンピック開催の見通しについて「これは難しいんじゃないの」(松井市長・5月29日)
との発言が続く一方、「住民投票」だけは実施に固執?!



コロナ前の 「協定書案」は白紙に!

6月19日に法定協議会を開催し、大阪市廃止の「協定書」を決定しようとしています。

しかし、「協定書案」はコロナ以前のものです。生活・営業への支援で財政出動が急増する一方、税収の大幅減少は間違いありません。

いまの「協定書」は白紙にするのが当然です。

協定書案は矛盾だらけ

現在の「協定書案」は維新と公明の修正でボロボロになっています。
住民サービスの「向上」の文字は消え、「18歳までの医療費助成」など、**いまの住民サービスは「特別区設置時」に「維持」するというだけ。**
「移行後」は「維持」する保証はありません。

「特別区」設置のコストを下げるために「中之島合同庁舎」?!当該自治体の外にある庁舎など、「離島」にしかなく、まともな自治体とはいえません。



アフターコロナに逆行!?

教室の「3密」悪化させる 学校統廃合工事は中止を!

「緊急事態宣言」の最中(4月20日)、住民合意なく「小学校統廃合」工事を強行(生野区)。学校がさらに「3密」になります。



西生野小学校
統廃合工事はじまる

写真提供/大阪民新報

医療体制を 充実してほしいのに…

維新によって廃止された「住吉市民病院」。医療体制が破壊された象徴です。



コロナ禍のなか解体工事が
はじまった住吉市民病院

不要不急のカジノ・ 大型開発はストップを!

窓がなく24時間営業のカジノは「3密」の典型、もはやアフターコロナには無用です。
夢洲でのカジノはきっぱり中止すべきです。



工事(1000億円)が
すすむ夢洲